
井戸端だより

第 36 号

発行日：2001.12.31

発行：くらしの学習会

10月の酒だる村での「秋のおさんぽ会」、11月の松山城山での「ポレポレ野あそびの会」と、自然に親しんだ秋となりました。

先日、「環境問題とは何か（富山和子著、PHP親書）」という本を読みました。「21世紀は環境の時代。そして21世紀の資源は水と土」と30年間言い続けてきた著者が、環境問題と言えは多くは汚染問題を思い浮かべるが、それは後からやってきた「質」の問題であり、おおもとの「量」の問題にまで踏み込む必要があるとして、環境問題を足元から見直すことを勧めています。

さらに、「環境の世紀」であればこそ日本人の出番であると彼女は言います。大昔から木を植え、土をつくり、水をつくり、海を養ってきた日本人として、私たちにはやらねばならぬことがあるようです。森も田もある重信町から発信できたらいいですね。



目 次

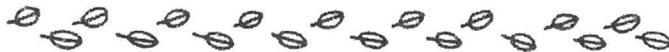
10月には「秋のおさんぽ会」を開催しました	p.2
11月には「ポレポレ野あそびの会」に参加しました	p.3
市町村合併に関する住民意向調査について	p.4-7
アンネのバラを訪ねて	p.8-9
9月県議会を傍聴して	p.10
読み聞かせの効用	p.11
今後の計画など	p.12

「秋のおさんぽ会」

10月20日（土）の午後、酒だる村にて「秋のおさんぽ会」を開催しました。暖かな日射しのもと、酒だる村のキャンプ場で「色」をテーマに遊びました。

ゲームの名前は「借り色競争」。参加者全員でくじを引き、「当たり」をひいた人が身につけているものの中から、色を1つ選び、その色と似た色のものを自然の中から探してくるというものでした。同じところで探したはずなのに、見つてくるものは人それぞれ違いました。面白いものですね。

山之内の空気も、酒だる村のおだんごもおいしくて、大満足の午後でした。



秋色さがしのおさんぽ会という言葉に誘われ、初めて参加致しました。澄みきった空気と碧空の中、お揃いのハンカチ袋を下げての秋色さがしにすっかり夢中。お陰で普段見過ごしてしまっている“自然が作り出すいい色”にたっぷり出会えました。

シートに座っての“そっくりカラー・コンテスト”は、子供に戻ってワクワク、ドキドキ。おいしいおだんごを食べながら、各々の植物の話の聞いたりと本当に楽しい時間でした。初体験の炒りドングリは栗の様に素朴なおいしさがあり、森からの贈り物を古代人になった気分でした。

野遊びの楽しさをたっぷり味わった秋の午後でした。ありがとうございました。欲を云えば“おさんぽの距離がもう少しあったら・・・”という気持ちですが、ぜいたくな望みでしょうか・・・

(K. M)



ポレポレ野あそびの会に参加して

11月12日（月）、会員のSさん主催で、場所は松山城。Sさん含め会員は5名の参加でした。

テーマは、『秋のグラデーションを作ろう』。城山を登りながら、紅葉した葉を透明なファイルに入れていき、色彩のグラデーションを作るという趣向です。

葉の色をよく見ると、紅葉のしかたは木の種類によって違うのはもちろんですが、同じ木でも枝によって色合いが微妙に異なっていることに気づきます。そして、1枚の葉の中に、美しい色の変化を見せてくれるものもあり、自然の造形には改めて感心させられました。「わあ、この葉っぱの色いいね。」などと言いながら登っていくと、いつの間にか頂上に到着。それぞれ工夫をこらした自信作を発表しあいました。どの作品も、まさにちょっとした「アート」。甲乙つけがたく、どれも芸術賞ということになりました。そして、山にあったものは山に返すということで、採った葉はまた山にもどして下山しました。下山した頃はちょうどお昼頃だったのですが、驚いたのはサラリーマンの方々が次々と登ってこられること。お昼休みの利用法としては、とても素晴らしいと思いませんか。「おとうさんたち頑張ってる」と心の中でエールを贈りました。

好天にも恵まれ、街の中に残された豊かな自然の営みに触れることができ、心あられる一日となりました。ポレポレのみなさん、お世話になりました。

(E. K)

***** 「ポレポレ野あそびの会」のご案内 *****

集 合：10時30分 県庁横の城山登り口付近
対 象：大人の方（子供同伴でも構いませんが、
プログラムは大人対象です）
参 加 費：1回500円（保険料含む）
目 的：自然に親しむこと
自然の中からドキドキをさがすこと
自然の中で、のんびりする



第10回 1月28日（月）
第11回 2月25日（月）
第12回 3月11日（月）

市町村合併に関する住民意向調査について

今年の12月、重信町は「市町村合併は、住民の皆様のご意向を集約し、自主的・民主的に推進する。」という基本方針に基づいた住民意向調査を実施しました。

調査用紙に同封された調査協力依頼の文書によると、この調査は、町内在住の20歳以上の方から、地区別・年齢別などを考慮の上、人口の約1割にあたる2,300名を無作為に抽出して行われたようです。くらしの学習会のメンバーおよびメンバーの家族のうち数名は調査対象になりました。もちろん回答は個々の考えに基づいて記入しましたが、この会報では、対象とならなかった町民の方にも内容の一部をご紹介します。

・・・ 調査内容の要約 ・・・

問1. あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

項目：①性別、②年齢、③職業、④通勤先・通学先、⑤居住歴、⑥居住地区

問2. あなたの通勤、通学、買物、行楽などの主な行き先はどこですか。

(各項目ごとに行き先を1つ選ぶ)

項目：①通勤先・通学先、②日常の買物、③週末の買物、④病院などの利用、
⑤スポーツ・レクリエーション、⑥生涯学習・サークル・文化活動、
⑦音楽・映画・美術鑑賞、⑧自然に親しむ近距離の行楽

行き先：①重信町、②松山市、③北条市、④伊予市、⑤川内町、⑥砥部町、
⑦松前町、⑧その他（具体的に）、⑨行っていない

問3. 広報“しげのぶ”や合併特集号などで、これまで合併に関する情報を提供してきましたが、ご存じでしたか？（1つに○印）

1. 情報にはすべて目を通しており、内容も理解できている。
2. すべてを見ているわけではないが、ある程度は理解できている。
3. あまり関心がないため、ほとんど見ていない。概要程度なら理解できている。
4. 全く関心がなく、情報も持ちあわせていない。

問4. 今後、重信町の合併は必要だと思われますか。（1つに○印）

1. すぐにでも必要だと思う。 → 問5へお進みください。
2. いずれは必要だと思う。 → 問5へお進みください。
3. 不要だと思う。 → 問7へお進みください。
4. わからない。

問5. 重信町が合併する場合は、どの選択肢が適当と思われますか。（1つに○印）

1. 基本パターンが良い。（松山市、北条市、重信町、川内町、中島町）
2. どちらかと言えば基本パターンが良い。
3. 参考パターンが良い。（重信町、川内町）
4. どちらかと言えば参考パターンが良い。
5. その他の組み合わせが良い。（重信町と合併したらよいと思う市町村をいくつか選んでください。）

問8. あなたは今後重信地区にどのような施設が必要と思われますか。

(2つまで○印)

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 児童館 | 2. 保健センター | 3. 文化会館 |
| 4. 生涯学習センター | 5. 福祉センター | 6. 青少年センター |
| 7. その他 () | | |

問9. 合併に関してご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

(自由回答)

市町村合併の是非や関心探る重信町がアンケート
 温泉郡重信町は、市町村合併に関する住民の意向を把握するため住民数のほぼ一割にあたる二千三百人の無記名アンケートを行うことを決め、このほど調査票を郵送した。十四日までに回収結果公表は二〇〇二年一月以降の見込み。
 調査内容は合併の是非や合併する場合の組み合わせ、合併への関心度など九項目。対象者は町内

在住の二十歳以上から無作為抽出する。

同町は、県の合併の基本パターンに▽松山市・北条市・温泉郡、参考パターンに▽温泉郡重信・川内両町の組み合わせが示されている。

2001年12月7日
 愛媛新聞

ニュース百科

合併しない宣言

福島県矢祭町が今後、市町村合併に加わる考えがないことを示した宣言。矢祭町議会は「小規模自治体をなくし、地方交付税交付金や補助金を削減して財政再建に役立てようとする意図が明確」と、市町村合併を推進する総務省に反発。全会一致で「市町村合併をしない矢祭町宣言」を決

議した。

総務省が矢祭町を訪れて再考を促したが、町側は「宣言を翻すつもりはない」と拒否、話し合いは平行線をたどった。高知県梶原町が行政視察に訪れるなど「合併しない宣言」に興味を持つ他の自治体もあり、今後の市町村合併の動きに影響を与えていった。矢祭町は福島県南部の茨城県境にあり、人口約7千人の過疎地域。

2001年12月9日
 愛媛新聞

アンネのバラを訪ねて

(A・M)

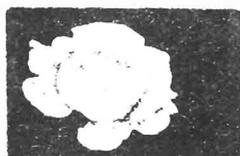
2001年11月13日(火)福山市にあるホロコースト記念館を訪ねました。ホロコーストとは、ギリシャ語で「焼きつくすいけにえ」をあらわします。ヒトラー政権下ではユダヤ人600万人そのうち150万人の子供たちが罪もなく殺されました。1995年に開館したホロコースト記念館は、アンネの父、オットー・フランク氏と偶然であった大塚牧師が、アンネのバラと共に数々の資料を提供されたことに由来します。

記念館では、基本的なホロコーストの歴史、特に子供の姿を通して「ホロコーストがどうして起こったのか」を学びます。

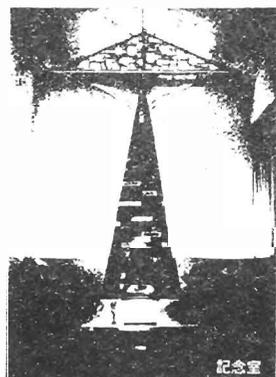
展示室では、ユダヤ人を助けた人々のこと、ホロコーストを生き延びた人々からの平和メッセージもあります。収容所で使われていたアルミ皿・スプーン・フォーク。私自身、囚人服の前に立ったとき胸に熱いものが込上げて来て暫く動くことができませんでした。この一着が何人・何十人の涙を、悲しみを、つらさを、そして死を知っているはずです。青いタテじまの服。強制収容所を体験した人は、今もこの模様を見ると震えるといいます。

犠牲となった150万人の子供達にささげられた「記念室」も作られ、レンガ作りのモニュメントには、ガス室に消えた子供の靴を展示、その下にはアウシュビッツ収容所の焼却炉の灰が安置され、ヘブル文字で「アニー・マアミン(私は信じる)」との祈りの言葉がそえられています。

ビデオと展示とで1時間もあれば見る事ができる小さな記念館ですが、気持ちがかもっていて、とても心に残る場所でした。福山市のミニ観光もしたのですが、駅周辺に文化地区があって(お城・美術館・文学館・民族史料館など)コンパクトにまとまっていて、駅にはショッピングセンターがあり便利でした。しまなみ海道開通のおかげで日帰りも可能な距離になりました。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



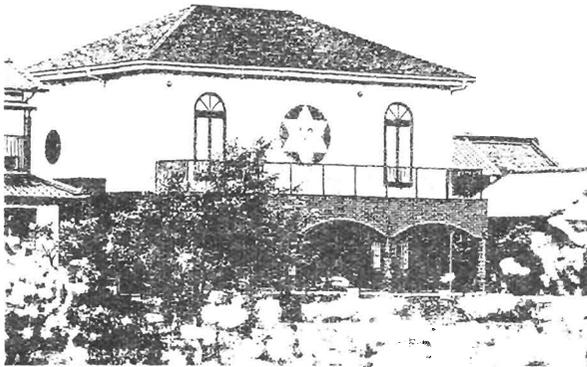
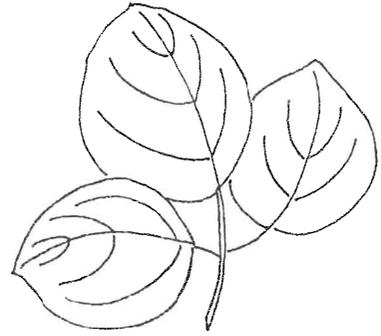
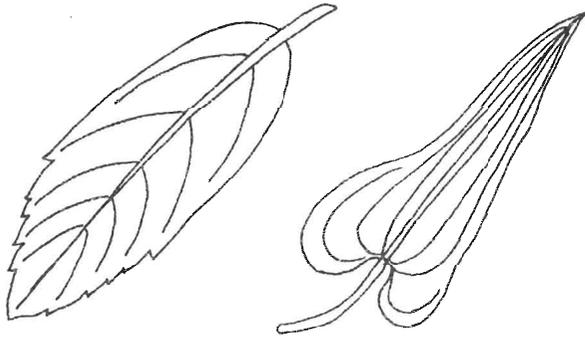
アンネのバラ



記念室



記念館ゲート



記念館全景

ホロコースト記念館

広島県福山市御幸町中津原866 〒720-0004

TEL&FAX 0849-55-8001

E-Mail : hecjpn@urban.ne.jp

ホームページ : <http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn/>

【開館日】火・水・金・土曜日 10:30~16:30

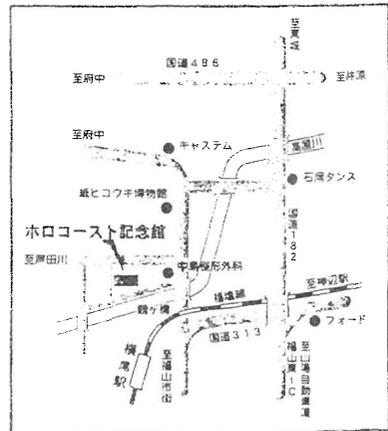
(休館日 日・月・木曜日、祝祭日、8月13日~16日、12月27日~1月5日)

【入場無料】(団体は予約が必要です。)



収容所で子どもが遊んだおもちゃ(レプリカ)

収容所でつくられた人形



協力館 ホロコースト教育資料センター

〒160-0015 東京都新宿区大京町28 エッパイアコープ105

TEL:03-5363-4808 FAX:03-5363-4809

E-mail : HoloCaust@Tokyo.email.ne.jp

ホームページ : <http://www.ne.jp/asahi/holoCaust/tokyo>

JR福山駅から*福塩線横尾駅下車 徒歩7分

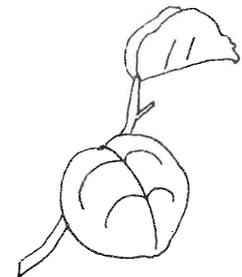
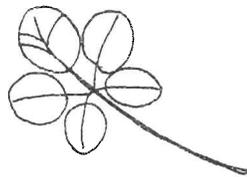
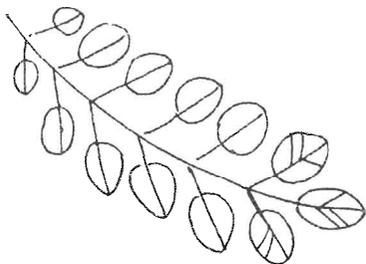
*中国バス6番乗り場(府中行き)

横尾下車 徒歩8分

*タクシーで15分

山陽自動車道...福山東1C下車、東城方面へ

中国自動車道...東城1C下車、福山方面へ



9月県議会を傍聴して

9月27日愛媛県議会を傍聴した。

その日は阿部悦子議員（環境市民）の一般質問があった。えひめ丸衝突事件、教科書問題、女性政策についてなど・・・8項目にわたって30分位の時間をかけて精力的に質問をされた。その答弁が30分あまり、さすが県議会だけあって少なからず迫力を感じた。

傍聴席もほぼ満席、遠くは土居町(浦山ダム関連)、長浜町（学校給食関連）からの傍聴者も見られた。

質問内容や答弁は、既に、報道済みなので、ここでは全体の感想を述べてみたいと思う。

知事の答弁が気になった。

県民との対話の回数は全国でもトップレベルと自負していると言う一方で、市民グループは約束した時間や人数を守らず、テレビカメラを持ち込み糾弾するという形を取るため会わない。実りのあったことは全然なかった。と感情的に発言されたのには驚いた。

全ての答弁で言えることは、質問に対して長々と答弁するが、聞きたいことがはっきりせず玉虫色の答弁が多かった。

再質問の手続きの方法は変だと思った。

再質問をするためには、議会運営委員会に内容を提出し、委員長の承認を得てからでないといけないという。

再質問の手続きが長引いたため、傍聴席からは「再質問をさせろ」「民主主義のルールを守れ」と、これに対し、議場の議員からも「静かにしろ」「つまみだせ」などの応酬があった。

また、傍聴席から声があると、テレビカメラや、県職員と思しき人が一斉にその人に向けてシャッターを切るのには驚いた。

阿部議員の再質問中の野次はひどかった。

女性でしかも一人会派の阿部議員の孤軍奮闘ぶりをみて、本当に応援したいと思った。

(S. K)

読み聞かせの効用

いつのことだったか、運転していて聞くともなく聞いていたラジオから、どこかの図書館の館長の話だったと思うが、読み聞かせの効用についての意見が流れてきた。ほとんどの部分は忘れてしまったが、特に印象に残る部分があったので、今も心に残っている。それは次のようなことであったと思う。自分の子供が字が読めないうちは読み聞かせする親は結構いるが、字が少し読めるようになると自分で読ませようとする親がぐっと増えてくる。こどもが、本を読んでとねだっても、もう字が分かるんだから自分で読みなさいと言って読んでやらなくなる親が多いと言うことであった。しかし、読み聞かせの効用はこの時期以降にやることにこそ意味があるのだという。すなわち字を読み始めた子供は、自分でできるだけ読むようにし向けられると、親に読んでもらうのを程度の低いことだと思い、たとえ親がたまに読み聞かせをしてやっても、自分も字を追いながら読むようになり、物語全体に対するイメージ化が弱く、内容把握も十分にできなくなるのだという。反対に、字が読めるようになっても読み聞かせの重要さを信じ親が十分にやってやった場合子供は、聞くことにのみ集中し内容把握の力がぐっと違ってくると言うことであった。

聞いていて、ふと自分自身を振り返ってみると思い当たる節がある。私が子育てをしている時、ちょうど妹が大学の卒論で「読み聞かせ」について書いていたので、「読み聞かせ」の大事さは認識しているつもりだった。だから、二人の子供には幼い頃十分読み聞かせをしてやったつもりだった。にもかかわらず、我が家の息子は、特に下の子は読書を全くしないし、国語の恐ろしく苦手な子供に育ってしまった。これはどうしたことか。読み聞かせの効用は一体どこにあるのかと常々疑問を感じていたのだった。なるほど、確かによく読んでやったのは幼稚園のうちで、小学校に入ってからはず読み聞かせはしていなかったように思う。これだったのだ、そう思った。

子供に関しては、今となってはもう遅いが、今携わっている仕事には何かいいヒントを与えてくれるのではないかと思った。自然習得の子供の場合と第二言語習得の外国人の場合とは違うかもしれないが、内容把握と一口に言っても、読解の内容把握と聴解の内容把握とは別個に考えなければいけないと思う。内容把握の能力そのものはまず聞いて分かることから始まるのは確かなことで、読む力はその土台の上に培われるものなのかもしれない。十分な土台があってこそ豊かな読解力が養われるのだろう。

(T・H)

しし座流星群をみました

11月17-19日、環境教育関連のフォーラムに参加するため、山梨県の清里を訪れました。私は昨年につき2度目の訪問でしたが、今年は嬉しいオマケがありました。18日深夜からの予定外のプログラム「しし座流星群観測会」です。

宿の部屋から毛布を持ち出して、体に巻き、ベンチに横になって「ぼ〜っ」と空を見ていたら、あちこちに星が流れました。その美しさに、ただただ、うっとり・・・次々に落ちてくる星に見とれてしまって、解説は右の耳から左の耳へ通りぬけてゆきました（今思うと残念。よく聞いておけばよかったなあ）。

でも、天文学が発達し、起源がわかっている現代では「きれい!」と思える流星も、詳しい知識なしに見たら、「怖い」と思うのかもしれない・・・そんなことを隣りに寝ていた方と話しました。「知識」について考えた観測会でした。(T.S)



【総会のお知らせ】

下記の通り、1月には総会を行います。ぜひ、ご参加ください。

1月21日(月) 13:30～ 林さん宅



くらしの学習会では、随時会員を募集しております。

活動会員 2,000円/年 購読会員 1,000円/1年

振込口座番号(郵便局) くらしの学習会(01610-5-21026)

問い合わせ先: 電話・ファックス 089-964-6956

編集後記

今年は秋の短い年でした。でも森にはたくさんの木の実、草の実がみのりましたから、動物たちの冬越しは安心でしょう。(T.S)